令和5年4月23日執行

駒ケ根市議会議員一般選挙

駒ヶ根市選挙管理委員会

よし、投票に行こう!

恵まれた自然 健康と癒やしがある 安心のまちづくりに さらにチャレンジ

- ☆ 若者や女性の声を市政に
- ☆ 高齢者の安心がいつも見つかる駒ヶ根に
- ☆ ダイバーシティ 多様性を活力に
- ▷安心の子育て、充実した教育環境の整備
- 業や中心市街地の魅力アップ、DXの推進
- ▶リニアや三遠南信道をいかす観光
- ▷災害に強い地域づくり、消防団組織の活性化
- ▷中小河川安全確保、農業用水路維持補修、戸草ダムの推進
- ▷安心の医療と介護 支え合いの仕組みづくり
- ▷ 特色ある国際交流と多文化共生
- ▷地域公共交通の確保、SDGsの取り組み
- ▷健全な財政運営の確保

~くらしを守り 地域をみらいへつなぐ~

もっと! もっと!! 駒ヶ根 元気!



を礼さわ誠排安供子中校物の 7 蒙 pU



相

駒ケ根を元気に!! 日本一笑顔あふれるまちに

社会活動等 令和5年3月31日現在

●駒ケ根市農業委員(平成26年~令和2年)

●駒ヶ根市議会副議長(令和元年~3年)

「昭和伊南総合病院グリーンサポート」など

●県道駒ヶ岳線をきれいにする会 会長 ●こまがね市民活動支援センター(ぱとな)

●CEK「ぶらーりまちなか発見隊」 隊員

●長野県立赤穂高等学校同窓会 副会長

南信法友会 副会長、他

LINE 公式 III LINE

●駒ヶ根歌声喫茶実行委員会 会長

●駒ヶ根市議会議員(平成27年~)

●駒ヶ根市議会議会運営委員長

●駒ヶ根花と緑と水の会 会長

「飯田線歌声列車2009・2013」

法政大学長野県校友会

SDGs

(令和3年~5年)

財政問題は雇用問題であり、雇用は最大の福祉

2 | 健康長寿 ウェルビーイング

住み慣れたまちに暮らし続けるために

3 教育と文化

子育て支援と女性が活躍できるまち

4 生き残るための環境整備

5 | 美しいまち

示

美しいまちは人を癒し、人を惹きつける力がある

6 | 絆・連携・支えあい 地域の発展は近隣との連携なくしてあり得ない

ま

危機管理 risk management

す 何が起こるかわからない時代だからこそ

【プロフィール】昭和28年(1953年)11月16日 駒ヶ根市に生まれる。 長野県立赤穂高等学校普通科卒業 / 法政大学経済学部経済学科卒業 / 元会社役員 / 現在は農業



えげ

地域づくり

- ◆農林業が元気で持 続可能に
- ◆防災・減災への取組 ◆昭和伊南総合病院
 - とのまちづくり

未来を創る

- ◆子どもたちの夢を 育む教育 ◆文化芸術のある豊
- かな暮し ◆伊那谷としての視

|¦市民参画の推進』

- ◆市民の意見を代表 する議員
- ◆市民との意見交換 会の充実
- ◆政策決定過程に意 見を反映



無所 が属

・心豊かに暮らせる駒ヶ根市をめざします

意思決定の場にもっと女性を!! 2期8年の経験と実績をいかし、3期目もしっかり取り組みます!

多様性

- ◆対話と尊重
- ◆人権を大切に誰一人
- 取り残されない ◆子ども・若者と共に 考えるまちづくり

◆子ども・中高生の学

- びの場 ◆孤独・孤立問題への
- ◆住み慣れた地域で
- ずっと暮らせる

持田製薬㈱研究開発本部勤務 長野県男女参画審議会委員 ・女性の自立支援の講座講師 · NPO法人 理事 市議会議員(2期目) ・副議長

〈現在のプロフィール〉

1957年東京都世田谷区生まれ

· 広報広聴委員長

みんなでかならず、投票しましょう!

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。なお、掲載の順序は、くじで定められたものです。)

明るく幸せな

好循環のまちづくりに向けて ホップ・ステップ・ジャンプ!!

「共有ビジョン」を一緒に考え、

地域のこと・市政のこと、前に進めます。 人口減少問題、教育、子育て、まちづくりなどは、全て地域で つながっています。

- ⊉しい未来に向かって、動いていくためにはどの ような好循環になるようにまわせば良いのか。
- 何かを変えようとしても動かないのはどういう 構造があるからなのか。

など、皆さまと一緒に語り合い、皆さまの声を市政へ 届けていきます。

みんなの声でこのまちを変える。

少子高齢化の進む中、様々な社会問題が噴出してきています。ですが、県や国

な駒ケ根市にする為にも、みんな声で、このまちをもっと暮らしやすいまちに

"藤井くにひこ"が取り組みたい重点政策

② 子どもたちがのびのびと成長できる環境づくり



無 所属 島か ず

若さと情熱で新時代を創る!!

- 産業の振興に邁進します!
- ・この地域が誇る農作物の推奨
- ・農工商、観光業のさらなる振興 ・デジタル技術で生産力の向上を
- ・若者が活躍できる地域 雇用の確保

・体験と知識を得られる教育の推進 ・世界とつながる教育を子どもたちに

・文化芸術、健康スポーツの推進

・地域の祭りや伝統文化の振興

教育文化の充実を目指します

- 魅力まるまちづくり

 - 安全で住み良い環境整備 ・空き家対策、空き店舗の活用

安心できる街に

*市民のみな

のまちづくり

・住みたい街 帰ってきたい街に ・デジタル技術で利便性の向上を

るどもから高齢者まで

・子育て世代を力強く応援します

・保険、医療、福祉、介護の充実

・高齢者の生きがい対策と見守り

防災力の強化、備蓄の推進



もそれらを一気に解決する術を持っておらず、地方は今までのように県や国 の政策を黙って受け入れているだけではどうしようもないところまで来てい ます。今こそ、県や国を突き動かすボトムアップの政治が必要です。持続可能

☆プロフィール☆ 1965年生 大阪府出身

1989 年 船治大学卒業 2006年~2021年

中川観光開発㈱ 望岳荘 支配人 2021年

立憲民主党長野5区 そが逸郎 秘書 一現在-

駒ケ根市内で会社員 中川観光開発㈱ 取締役

立憲民主党

格動 ちづく b

を基本に自治体内で支え合う

PROFILE

⑤ 人口減少対策

⑥ 未来につなぐ農業

変えましょう。

① 市民参加型市政の実現

③ 高齢者が生きがいをもてる福祉

⑦ 地域資源を活かした地域活性化

④ 子育で・福祉現場で働く方々の待遇改善

理合副代表。 理合副代表。

- 子ども時代の貧困や孤立を発見し、女性の視点を盛り込んだ防災体制
- ◆ 子ども時代の貧困や孤立を発見し、早期対応へ
- ◆ 女性の視点を盛り込んだ防災体制作り

子どもの人権尊重、若者や発達に特性のある子どもたちの居場所作り

- ◆ 子どもを中心にしたまちづくりで、子どもと親が笑顔になれる駒ヶ根市へ
- ◆ 家庭や学校以外の中高生以上の子ども・若者の第三の居場所作り
- 生活の中の困ったを見過ごさない地域作り
- ◆ 地域公共交通の拡充
- ◈ 地域での食料自給率向上を念頭に置いた農業者支援
- 高齢者などの消費者問題改善、権利擁護

駒ヶ根市議会議員・社会福祉士・防災士、長野一般労働組合上伊那支部書記長

◆ 宗教名目の悪徳商法含む消費者問題への対応強化 (悪徳商法に対する撃退マニュアル作りなど)

地域からの平和や持続可能な社会作りの提案 ◆「登戸研究所平和資料館(仮)」の常設化などで、 が掘り起こした戦争の歴史の史実の見える化 ◆ 女性自治体議員を増やすための「女性と政治スクール@伊那谷(仮)」設定



大軍拡・大増税ストップ、税金はくらし福祉・教育に!

子育て応援3つのゼロを推進

①小中学校給食費ゼロ

○憲法の理念からも子どもの教育費は無償が原則 食育としての給食費は無料に!

②未満児保育料ゼロ

③子どもの国保税ゼロ

○子育て世帯未満児保育料の負担はゼロに。

○待機児童や育休退園もゼロに

○負担が重い均等割部分のこどもの国保税を廃止に。

予算の使い方は、くらし応援に

高齢者に安心

○市民生活の足を 取り戻す交通網を。 ○年金引き下げ等 社会保障の切捨て 反対、格差是正へ。

○特養入所待ちゼロ

仕

○中小業支援で 最低賃金 1500 円。 ○家族農業を支援 物価高騰支援を。 ○若者や女性が輝

く労働環境を。

○平和憲法遵守 ジェンダー平等 ○街と中山間 環境守 均衡ある活性化。 ○観光振興は

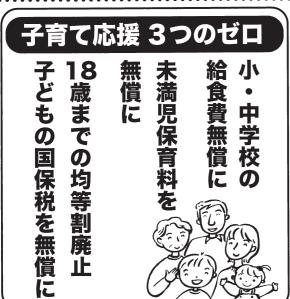
自然背景に推進

税金は 暮らし・福祉・教育に 大軍拡、大増税ストップ

【プロフィール】1953 年生まれ。赤穂高校商業科卒。伊南農協勤務。上伊那医

療生協理事を歴任。現在、新日本婦人の会駒ケ根支部長。日本共産党市女性部長。

NPOこまネット介護ヘルパー。家族は母と夫、家族8人暮らし。赤穂南割在住。



ためにがんばります 0) を市 に届 け

ま

介護と子育 ての 経験を生 か



日本共産党

住みよい健全な駒ヶ根市づくり

1 地域医療の充実

昭和伊南総合病院の新築移転に伴い、市民が安心して受診できる病院 としてしっかり守ります。

2 子育で・福祉施策の充実

子育て支援と青少年健全育成を進め、若者が希望をもって生活できる 元気なまち、障がい者・高齢者が安心して暮らせるまちづくりの推進。

3 一次産業の充実と推進

災害や非常事態に備えて、駒ケ根市内での食料(糧)自給ができるよう 推進します。

4 結婚支援活動の推進

「縁」はどこかにあります。独身男性・女性にすばらしい「縁」が 来ますように応援します。

5 移住、定住の促進

6 観光と農業の推進

7 防災対策

企業誘致の推進

9 事業の見直し

10 効率の良い税金の運用

「身近なおやじ」気軽に声をかけてください。



所 属

林 敏

夫

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。なお、掲載の順序は、くじで定められたものです。)

投票日に投票に行けないときは、期日前投票をしましょう!

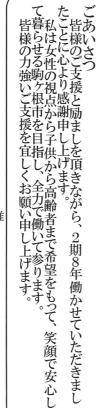
実現しました!

- ◆出産・子育て応援交付金事業の推進、実現しました!
- ◆コロナ過での出産で新生児に10万円給付金支援を実現しました!
- ◆パートナーシップ宣誓制度の導入を実現を実現しました!
- ◆コロナ禍で経済的に困窮する女性たちの負担を軽減する要望をしました!
- ◆重層的支援体制整備事業の推進、実現しました!

竹村ともこの「こまがね」ビジョン

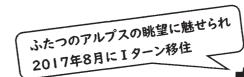
- 福祉・医療の充実で健康長寿都市「こまがね」へ! ☆地域包括ケアシステム(住み慣れた地域で暮らし続ける)を推 進、支え合う福祉のまちづくりを目指します。
- ❷ 子育て、教育の充実で住みよいまち「こまがね」へ! ☆安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めます。 ☆女性が活躍する社会、働く女性の支援を推進します。
- ❷ 防災、減災対策、環境整備で安全安心の「こまがね」へ ☆物価高騰による負担軽減策を推進します。
 - ☆女性の視点と防災士として防災対策を推進します。

〇昭和35年生まれ(62歳)〇飯田長姫高等学校 卒業 ○防災士○県婚活支援サポーター○趣味は音楽鑑賞、速記 〇好きな言葉は「勇猛精進」





·



市政に 新たな風を!

駒ヶ根の魅力をもっと生かして 安心とワクワクのまちに!

=駒ヶ根での主な活動= ・市民団体「HUGこまがね」事務局長

・NPO 法人地域支え合いネット アトム便 乗務員

- ·成年後見支援員 ·公民館 館報編集委員
- ・市議会 広報モニター
- ①皆さんとの対話を大切にし 共に考え一緒に活動します ②地域の様々な課題を新たな
- 視点・発想で取り組みます ③「駒コンバレー」の設置によ り、アイデアを形にします



51

多様化する社会と少子高齢化問題を見据え 市民の為に何ができるかを念頭におき働きます

『支え合い』と『繋がり』で誰もが安心して 生活できる『共生できる地域』を目指します

障がいがあっても、高齢になっても、認知症になっても

- ☆ 福祉の現場が見えるようにする 駒ケ根市の活動を評価・PR
- ☆ ハンデを抱えた方たちの交通手段の充実 懸案事項に取り組む
- **☆ 福祉政策の『ひずみ』『はざま』の解消** 社会的弱者の救済
- ☆ 病院を中心とした環境整備案の提案 未来に向けての地域づくり





- 所懸命!駒ケ根市を元気に!!恩返しします!

進学等で都会へ行った子どもたちが帰ってきたいと思える駒ケ根市のまち づくりを目指します。農業、商業・工業・建設業等すべての産業に元気が出 て、魅力ある雇用の受け皿になるようより良い施策を提案・実現します。 それが人口減少、少子化問題解決の一助となると確信します。



地場産業の活性化・高齢化社会への対応・交流人口、移住定住の促進

(福岡区在住)

最近多発する火災・地震等防災対策・昨今の物価高騰対策

そして、思わず二度見してしまう素晴らしい自然環境の継承

プロフィール

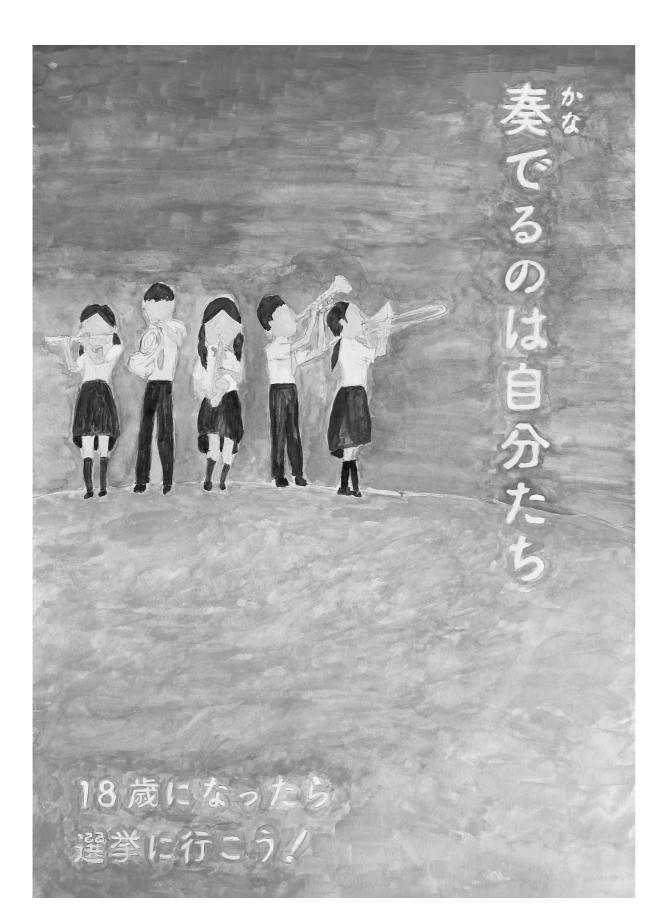
昭和39年11月21日生(58歳)

京都府長岡京市出身(駒ケ根歴25年)駒ケ根青年会議所OB・高P連会長 (赤穂高校PTA会長)福岡分館主事·分館長·大徳原自治会長 大徳原景観形成住民協定協議会会長・駒ケ根市自衛隊協力会会長 33歳の時、駒ケ根に惚れて家族全員で移住しました。あの時の中央アルプスの 雄大さで感動したことは今でも忘れません。この自然を次世代にも継承していき ましょう。そのための施策を皆さんと一緒に考え、作って実現させましょう!

所 属

令和4年度 明るい選挙啓発ポスター入賞作品

※ 学年は令和 4 年度の学年です。



赤穂南小学校6年金子 桜さん



東伊那小学校6年 白川 菜津芽 さん

駒ケ根市議会議員一般選挙公報

委員長談話

上で極めて重要な意義を有するものです。 今回の選挙は、今後の市政のあり方を方向づける二十三日に投票が行われます。 駒ヶ根市議会議員一般選挙が本日告示され、四月

ふさわしい人を選んでいただきたいと思います。著の政策や識見等を見極め、市政を託す代表として、を利用する方法による選挙運動等を通じて、候補有権者の皆様におかれましては、この選挙の重要上で極めて重要な意義を有するものです。

ます。

ます。

ます。

の年齢層と比べて投票率が著しく低い状況であることかの年齢層と比べて投票率が著しく低い状況であることか

また、特に若い有権者の皆様におかれましては、

票に参加されるよう心より希望いたします。には、二万六千人余の有権者の皆様が、そろって投る最も重要な機会ですので、四月二十三日の投票日り、有権者一人ひとりが市政に対して意思を表明す終わりに、選挙は民主主義の根幹をなすものであ

令和五年四月十六日

駒ヶ根市選挙管理委員会委員長

洋

平

◎投票日 4月23日(日)

投票時間は、午前7時から午後8時まで

投票所の閉鎖時間が繰上げになる投票所は以下のとおりです。

投票区	投票 所	閉鎖時間
14	吉瀬自治組合集会所	午後 6 時
15	永見山生活改善センター	午後 6 時
17	上割生活改善センター	午後 6 時
18	中山分館	午後 6 時
19	伊那耕地いきいき交流センター	午後 7 時
20	東伊那多目的研修集会施設	午後 7 時
21	火山いきいき交流センター	午後 7 時
22	大久保いきいき交流センター	午後 7 時

◎投票場所 入場券に記載された投票所

お問い合わせは選挙管理委員会まで 電話 83-2111 内線 935